



撮影した人形の紹介

今回の撮影対象になった人形の紹介です。

リリン：錬金術工房から販売されている人形

造形：荒木元太郎氏

「ちびユノア・リリン」の未組み立て・未塗装のものを購入
組み立て前の研磨から素人なりに頑張って作った人形です。

俗に「メイク」と呼ばれる塗装は何度も修正
現在も修正を目論み中です。

身長・約35cm

未組み立てだったころの画像もあるので
苦手な方は3ページまで飛ばしてください。

画像は古いものから新しいものへとすすみます。

出会い

工場からガタゴトお布団入りの箱の中で眠ってた。
明るい場所に到着したとわかったのは箱の蓋が開いたから……
けれど……そのときのリリンはまだ
お目目も無くて
手足もばらばらで
お人形と呼ばれるような姿じゃなかったの。



こんな姿はやっぱり恥ずかしいから
ちょっとボカシちゃう。



やっと「お人形」の形になったばかりのとき。
何処からか引っ張り出してきた洋服ばいものを着せられて
リリン専用のヒールも真っ白のまま。
でも、もうバラバラの何かじゃないの。
リリンは世界が見えるようになったの。



ありあわせの布とコットンヤーンで「リリンのため」に
チクチク手縫いが大嫌いなくせに縫ってくれたんだ。
同じ金髪でもストレートな髪型に変えて
手の先やボディにも手を加えて
どんどんリリンはお洒落を覚えていくんだよ。
小さくてもリリンは女の子なんだもの。

まだ大人にはなりたくなかったの



可愛い洋服を見つけたから、お強請りして買ってもらっちゃった。

だけどリリンには似合わないの。

ちょっと悲しくなっていたら「似合わないのなら似合う子にしちゃおう！」

ドキドキしたけれど似合うようになったかな？



可愛い服を買ってもらったから、可愛い靴も買って！とお願いしたの。

だってリリンは外に出たことが無い。

初めてのお散歩は太陽が眩しくて

公園の木々の緑も眩しくて.....

子供ぽい服を着て、子供ぽく木に登ってみたりして

それでも子供らしくないと言われちゃうのはどうしてかな？

1人で立てるよ



出窓の外は外に向いて傾斜してる。

ちょっと前に倒れそうだから片手を壁に添えているけれど
リリンは倒れないよ。

こんな狭くて、傾いた場所だからって

「立つことが難しい」なんて泣き言は言わないの。

泣き言なんか言う前にリリンは「ほら、できるよ！」って
みんなに笑って見せてあげる。

ちゃんと1人で立てるよ。

リリンは赤ちゃんじゃあないんだもの。



休憩しようとしたら、ここしかなかったんだって！
確か「カフェ・オ・レ」を注文したんだよね。
リリンは苦そうなカフェ・オレの横で笑ってあげたんだ。
スマイル♪
スマイル♪
笑顔は伝染すると誰かが言っていた気がしたの。
「ミルクが欲しいね」なんて言いながら飲んでいたので
きっとホントに苦かったんだ。
でもリリンのせいじゃあないんだからね！



リリンは初めての外出で木登りを覚えたよ。

「緑が綺麗な季節なんだよ」って声が聞こえる。

高い空で何かが飛んでいる。

綺麗な声も聞こえてくる。

「セグロセキレイ、ヒバリ、夏ウグイス」

リリンを見ないで、そんなことばかり言っているけれど

もしかしてリリンに覚えて欲しいのかな？



本当は車の中は退屈なんだ。
それでも大人しくしているよ？
リリンは内気で家にいるような女の子じゃあないんだから
いっぱい外に連れて行って欲しい。
だから大人しくイイコになっていることだってできる。
ほら
リリンは本当は小さな子じゃあないんだもの。

ヒトガタ・画像 II
リリンといっしょ

<http://p.booklog.jp/book/26795>

著者：猫屋雑猫

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/nekoyazathuneko/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/26795>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/26795>